



赤磐

平成23年

9

月議会

# 市議会だより

No.26



も  
く  
じ

9月議会のあらまし	.....	2P
委員会のうごき	.....	5P
16人の議員が一般質問	.....	11P

市議会の会議録がインターネットでも閲覧できます。ご利用ください。



<http://www.kaigiroku.net/kensaku/akaiwa/akaiwa.html>

(※赤磐市のホームページからもアクセスできます。)

# 9月議会のあらまし



スポレクフェステ赤磐

## 議案審議

9月定例会を、9月1日から9月27日まで、27日間の会期で開催した。報告案件8件を承認、決算13件を認定、議案6件および議員発議の意見書1件を可決、人事案件1件を審議した。また、継続審査となっていた請願2件のうち1件を採択、1件を不採択とした。

## 22年度決算認定

### 一般会計

**問** 庁舎管理事業の燃料費と委託料が、そうとう減額になっているがその内容説明を求める。

**答** 燃料費は庁舎の暖房が重油から電気になったため28万円程度の減になり、委託料は前年度必要だった設計監理委託料が22年度は事業減により必要なかったため。

**問** 山陽老人福祉センターの補助金が約2300万円の減になった理由

**答** 前年度に老朽化等に伴う修繕工事を実施し、国の地域活性化・経済危機対策臨時交付金を市から社会福祉協議会へ交付したが、22年度は通常の人件費、運営費等のみの交付となったため。

**問** 赤磐市に外国人はどのくらい住んでいるか。他市に比べてどうか。

**答** 8月現在234人、全人口の0・6%。瀬戸内市は0・8%、美作市は0・6%など。多いところは総社市、井原市

等が1・3から1・4%という状況で、市は平均的な状況と考えている。

**問** 市営住宅の解体工事後はどう利用するか、また施策はあるのか。

**答** 吉井地区は以前から分譲地として販売する計画だが目的達成はしていない。また退去時期が違うため取り壊しに数年かかっている。今のところ計画は立てていない。防犯防災上、衛生上、環境面でも、近隣から苦情が出ないよう跡地の保全に努めていきたい。

**問** 合併により行政区域が拡大することに対する地域住民の懸念を払拭するために、合併協議会に

基づき市の付属機関として旧町単位の設置した地域審議会に、市民病院の再編について諮問したのか。

**答** 22年度末にあり方検討会の結論がでるということだったので諮問はしていない。23年度に議論することになっている。

**問** 物品貸付収入は今後増額されるのかまたは減額か、加入率など予定通り進んでいるのか。

**答** 市が整備した光ブロードバンドのIRU契約の相手方、NTT西日本からの収入で1374件、加入率23%に対するもの。当初は10%を見込んでおり順調に進んでいると判断。現在30%まで

進んでおり促進すれば収入は増加すると考えている。

### 国民健康保険 特別会計

**問** 繰入金予算より少なくて済んでいた中で、なぜ23年度の値上げを検討していたのか。

**答** 後期高齢者支援金分については20年度から6000万円から8000万円程度の赤字が続いていた。加入者が異なる現況から考えて公平性の担保ができない。特別会計の基本原則から本来避けるべき繰入金であると思っっている。国保税全体の歳入が減ってきている中で特別



コスモス・案山子まつり

## 水道事業会計

会計を維持していくために上げさせてもらった。か。

**問** 合併して初めて原価が単価を下回った。その原因は経費の削減と猛暑などの影響で有収水量が増えたため、給水単価より4円安くなった。今後の見通しについてはもう少し時間をもらいたい。

**答** 当初予算で農協モモ部会の事業量確定による補助金減額と、農協4地域における各どう生産組合等の事業量増により、補助金の増額を行うもので、これについては県の補助金を受けて行う。

務に関わる委託料を予算計上している。これは設計内容の妥当性を検討するもので、必要に応じて工事請負業者と協議調整を行い、施設の処理性能、管理性および耐用度を設計段階から適切にするための業務として発注をしている。津崎地区に計画している焼却・リサイクル施設等のごみ処理施設に関わる工事費とともに、平成25年度までの債務負担行為として予算計上している。

ので、最終的に決まるのが11月から12月になる。そのため、機械等の発注はそれ以後になる。

**問** 公園遊具の取り扱い整備等について。

**答** 西山団地町内会から遊具整備の申請が出て、市が財団法人自治総合センターの宝くじの社会貢献広報事業として交付を受けたものを、西山団地町内会へ補助した。

## 23年度一般会計補正予算

**問** 森林組合出資金700万円の詳しい説明を求め。

**答** 24年4月の合併に向けて赤磐、美作および備前市の森林組合が合併推進協議会を設置し、協議しているところで、赤磐市森林組合から経営基盤強化のため出資金の追加要請があった。市も必要と考え行うこととした。

て啓発冊子の作成、地区環境調査の事業を実施する。これに伴い需用費から110万円、委託料から100万円を補助金に組み替える。協議会の中で、今後赤磐市がどういう方向で啓発活動および事業をやったらよいかについて検討してもらいたい。

**問** 商工費100万円の内容は。

**答** 花火大会・あかいわ祭り・是里ワインフェストのイベントに対して、備前県民局の地方振興事業調整補助金100万円の交付決定を頂いた。東日本の震災の復興の助けになるようにと、東北地方の物品を販売する等の形で復興支援を行うというところで100万円の補助金を受けた。この補助金を元に東北地方の特産品を仕入れて販売した。

施設については、焼却施設は16時間で44トンの焼却が可能な22トン炉2基の連続式ストーカ炉を計画している。そのほかに、管理棟・計量棟・洗車棟・車庫棟等を計画している。また、リサイクル施設では不燃・粗大ゴミ、缶類処理設備、ペットボトルおよびプラスチック製容器包装処理設備を計画している。

**問** 工事請負費、上市水路の設計と委託の工事費は。

**答** 上市水路改良工事は、地元区長から水路の水はけが悪いという連絡があり、原因調査した結

**問** 農業振興費、鳥獣被害対策協議会への補助金210万円の内容は。

**答** 今年7月19日に立ち上げた赤磐市鳥獣被害防止対策協議会の事業とし

県補助金の鳥獣被害防止総合対策交付金として200万円の割り当て内示があり、歳入に追加している。

**問** ごみ処理建設工事について。

**答** 設計・施工の一括発注を予定している。工事請負者に対する設計監理および施工監理の支援業

その他屋外にストックヤードや危険物庫等も作る予定である。現在、事業は提案型で行っている

が、最終的に決まるのが11月から12月になる。そのため、機械等の発注はそれ以後になる。

**問** 果樹生産振興補助金

および

が

が

果、はけ口から2m程度の箇所が折れ曲がって閉塞しているとともに、県道岡山吉井線の路肩が陥没していた。県道への影響を考慮して早期改修が必要として、予算計上した。

工事内容は推進工法を考えており、市の職員では設計は難しいと思うので委託した。県からも所要の補助金を受けられるように手続きを取っている。



次のとおり承認した。

**人権擁護委員**

前原 春二（桜が丘西10丁目）

任期

平成24年1月1日～平成26年12月31日

**請願**

請願第1号 国の存亡を危うくする環太平洋連携協定（TPP）への拙速な参加に反対する請願

【採択】

請願第7号 赤磐市民病院存続に関する請願

【不採択】

【要旨】 諸問題はあるが、入院できる公益病院が無くなることは問題である。ただちに病院の建て替えはできなくても、診療所にしないで市民病院を継続することを求める。

【賛成討論】 医師不足、財政負担を理由に診療所に決定することは短絡的である。市民に不安を与えないためにも賛成である。

**意見書提出**

国の存続を危うくする環太平洋経済連携協定（TPP）への拙速な参加表明に反対する意見書

【提出先】 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、外務大臣、農林水産大臣、経済産業大臣、内閣官房長官、国家戦略担当大臣

【要旨】 TPPへの参加は、農業へ甚大な影響を与えるのみならず、食糧安定保障の観点から国の存亡を危うくする可能性が高いため、拙速な参加に反対する。



# 総務文教 常任委員会

9月14日に総務文教常任委員会を行った。  
議案2件について審査した。

## 改正 税条例等の

**問** 今回の改正により市にどのような影響が出るのか。

**答** 3万円から10万円に過料が上がることで、収納税額が増加する。

**問** 過去に不申告で3万円の過料をかけたことは。

**答** 合併以来、過料をいただいたことはない。

**問** 第88条の意味は。

**答** 第88条の1項の改正は軽自動車税にかかる不申告に関する過料で、購入を申告せずにいた場合に過料がかかる。

## 一般会計 補正予算

**問** 財政調整基金費に積立金を2億円して、財政調整基金繰入金を1億3000万円減額するが、どうなるのか。市民要望からすると補正でも組んで、新しい事業をやって欲しいと思うがどうか。

**答** 当初予算を組んだときに比べ交

付税は増額の確定があった。当初予算は、財政調整基金からの繰り入れで予算編成したが、基金に頼らない財政運営により大半は財政調整基金に積んでいる。

ただ、コンポスト組合の整理等で財政調整基金からの取り崩しが3億円を超えてくると思うので、今回は基金に積んだ。国から追加の交付金等が来れば、他の事業にも取り掛かっていきたい。

**問** コンポスト処理施設のあとに生ごみ処理施設が許可になれば積み立てはいらぬのでは。

**答** コンポストの組合には施設建設に国から補助金と起債の借り入れの両方がある。起債は一括返済をしなければならず、補助金は後事業が国に包

括承認されれば、8000万円前後は返済をしなければもよくなる。起債は3億何千万円かの返済をすることになるので、基金から取り崩すようになる。

**問** 賦課徴収費で嘱託員報酬が県の補助事業で減額になり、国保に振り替えになるといふことだが。

**答** 賦課徴収費で報酬、共済費を減額している。同時に国保会計へ同じ金額を計上している。国保で、収納対策事業の県の補助事業が採択になり、国保会計の補助対象として嘱託員の報酬2人分を国保会計へ組み、一般会計は減額した。

**問** 国保だけを徴収するのではなく、全般の業務をこなすということではないのか。

**答** 国保だけでなく、いままでどおり徴収にあたる。

**問** 国保会計が一般会計の市民税や固定資産税を

徴収するのは、徴収吏員でもおかしいのではないか。

**答** 国保を主体にし、国保の滞納があれば市税もある場合があるので、県に交付申請する嘱託徴収員は滞納額で按分する。

**問** 教育費のストーブの購入で、ボイラーに代わってストーブを購入するとのことだが、各教室に1台ずつくらい行き渡る段取りなのか。

**答** 昨年度の1月から3月にかけて小学校2校、中学校1校、幼稚園2園のボイラーが故障したことで、1月に故障したものは、予算の流用等でストーブを買った。3月の故障分を備品購入として上げた。各教室1台ずつと考えている。

**問** 他の小中学校、幼稚園は今どのような状況か。

**答** 中学校

でボイラーの使用は、桜が丘中学校1校のみで、あとの4校はストーブに代わっている。小学校は山陽北、石相、軽部、笹岡の4校がガスを使ったボイラーの暖房設備を使用し、あと12校のうち8校はすでにストーブに代わっている。残った学校は、多額の修理がいる場合にストーブ化になる。

**問** 学校建設時の設計で重油ボイラーにしているが、またやり直してガスや電気にするようなことにならないようにしてほしいが。

**答** ストーブによる暖房が効率的と判断してこの方向で進めている。



ボイラーに代わり購入するストーブ

# 厚生 常任委員会

9月15日に厚生常任委員会を行った。  
議案3件について審査した。

## 補正予算

### 一般会計

**問** コミュニティ助成事業助成金は、西山団地の

**答** 今回は宝くじの助成事業で、地元が遊具整備



西山団地内の公園

児童公園の遊具ということだが、今後は、各地域の公園の管理は市として公費を出さないということか。

する経費に対する助成金である。市としては、国・県交付金などを有効活用して整備するという原則で続けていきたい。

**問** 市の責任として年に何回かは遊具の総点検等をしていくつもりはないか。

**答** 公園ということで、全体的に整備方針を調整していく必要があると考えており、その準備を進めている。

**問** 本会議の質疑に対する市長の答弁で、焼却施設の炉はストーカ炉で22トン、2基など詳しい話があったが、いつ決定したのか。

**答** 焼却施設の規模・内容については、22年度の下期から23年度当初に厚生常任委員会で協議して

いる。基本設計の具体的な公募型指名競争入札ということでの資料も23年度に入って提供している。

**問** 最終処分場の視察は、4地区で何人行くのか。各地区反対者が多いが、いつ、どこへ行くか決まっているのか。

**答** 120人分を予定している。最終処分場の建設候補地の石蓮寺、岡、佐古、稗田の4地区。説明会の中で先進地視察をという話が出ているので計画している。視察先は、石蓮寺の地形や状況にあった処分場を検討して決定する。地元へは、補正予算の議決後10月以降に調整していく。

**問** 最終処分場の話と市民病院の話との関係は。

**答** 地元説明会で、特に岡、佐古の両地区からは病院関係の質問があった。病院の診療所化という話が出た後の説明会だったので、「病院もなくなるから協力したくない」という発言もゼロではな

かった。

**問** 説明会でいんな話が出るのは仕方ない。市長が最終処分場と市民病院の話をクリックしてやるうとしていくのかどうか聞きたい。

**答** 二つを一緒にして

いこうとは考えていない。独立したものとして地元で説明し、理解してもらい進めていく。

## 国民健康保険 特別会計

**問** 予備費の補正をしているが、基金に入ると予備費に入るのとはどう違うのか。

**答** 予備費的なものについては、基金に積むか、翌年度へ繰り越して医療費に充当するか、2つの方法がある。予備費の1億500万円について



最終処分場予定地（石蓮寺）

は、今回医療費が伸びており、基金に積む余裕が無いので、次の段階では医療費へ充当するよう整理をしている。

## 介護保険 特別会計

**問** 本会議で、介護度を自由に変えることができるとか、という質問があったがそういう事例があるのか。

**答** 基本的にはできないと考えている。事例は無い。

# 産業建設 常任委員会

9月16日に産業建設常任委員会を行った。  
議案3件について審査した。

## 一般会計 補正予算

**問** 果樹生産振興事業補助金について、モモ部会が減額、ぶどう部会が増額との事だが、当初予算の内訳はどうか。

**答** モモ部会は当初補助金ベースで179万5000円の事業費計上で

あったが、実施段階の精査で、68万5000円となった。ぶどう部会は同じく79万7000円の事業費計上であったが、その後新規で始めたい等の声があり、苗木、ぶどう棚、ハウス等の事業を実施するため、562万9000円の増額計上をし、合わせて494万4000円の追加計上を行っている。

**答** 全てを設計委託に出すわけではない。職員の養成のためにもなるべく市役所内のできるものはやっていく。今回は推進工法という特殊な工法を用いるので、専門的な知識、技術を持っている業者に委託を考えている。正式な見積もり等とはしていないが、連合会には見てもらっている。まだ確定はしていないが、45%の補助率と聞いている。

いる。

## 土地改良 工事費100 0万円、設 計委託料が2 00万円と なっているが、 市の職員で設 計できないの か。土地改良 事業団体連合 会へ照会した か。また、県

道に係る仕事は全て委託か。また、県の補助率はいくらか。

**問** 森林組合出資金700万円について、これ以上の追加要請は無いのか。また、出資金の運用計画は有るか、その金額は妥当か、今まで財政的に問題が有ったのか。今まで

補助金として出していた350万円は、どのようなに使われていたのか。補助金が来年度以降はいらなければ、22年度の損益計算書で50〜60万円の赤字であるが、24年度以降の組合運営は大丈夫か。

**問** 商工費で、補助金が100万円あるが、イベント事業全体の予算はいくらか。また、それは按

分するののか。



花火大会での東北の物産販売中

林組合から要請が有ったため予算化した。今までの補助金は、事務職員の給料に該当する額だと思ふ。体力的に弱い赤磐市の森林組合が、合併をスムーズに進めていきたいというところもある。

**問** 支障管移転工事費負担金2件について、工事は完成しているのに、出納閉鎖までに県が処理できないと言っているのはおかしいのではないか。

**答** 工事はいずれも3月末までかかった。それから県と協議しながら手続きを行う中で、県の事務処理が5月末までに間に合わず、入金6月になったため、今回の負担金を計上している。制度的にはこのような状況が発生することがある。市としては、当然5月までの支払いを申し入れたが、時間が経過したというのが実情である。

## 簡易水道 特別会計 補正予算

**答** 花火大会が623万7000円、あかいわ祭り462万6000円、ワインフェストが150万円。補助金はそれぞれ50万円、40万円、10万円ずつ按分する。



上市水路改良工事予定地

# 決算審査特別委員会

9月12日、13日、21日に決算審査特別委員会を行った。  
議案13件について審査した。

## 収入未済額について

**問** 市税は根幹を成す自主財源である。約4億円の未収金はどういうことか。

**答** 滞納整理については、県の滞納整理機構等にもお願いし、研修会に職員も派遣し、県職員の派遣も受け滞納整理を行っている。

**問** 国民健康保険税・介護保険等の未収金は、交付税算入もあるが、一般財源から補充している。健全というのをおかしいのではないか。

**答** 特別会計は、会計の中でまわしていくのが基本であり、整理を進めていく。今後も、滞納整理を先端的に行うため、全

体をコントロールできるセクションを作り、市民の負担の公平について担保できるようにやりたい。

**問** 徴収職員が足りないのではないか。民間を使う研究はしていないか。

**答** 徴収嘱託職員を3人来てもらい体制は整えている。民間委託は今のところ考えていない。

## 一般会計

### 総務文教常任委員会所管

**問** 市民バス運行について、赤坂地域が減っているが路線が悪いのか、他の原因か。

**答** 2路線で173人の減となっている。路線バスの時間変更があり接続

しにくくなったという原因もある。今回市民アンケートを実施する予定である。

**問** 施設維持管理工事費9423万6000円は何か。

**答** 省エネ型照明器具の取り替え、空調のやり替え等の工事、マイクロバスの車庫工事および公用車庫の工事費である。

**問** 防災行政無線施設整備工事費2億160万円は何か。

**答** 山陽地域の行政無線をデジタル化し、屋外拡声器73局を整備した。

**問** 遠距離通学補助金の内容を。

**答** 支援要綱に従って年額6000円、または定期券および回数券で対応

している。

**問** 中学生も小学生のスクールバスに乗れないか。

**答** 小・中では部活動の関係等時間的に違って難しい。

### 厚生常任委員会所管

**問** 保育料未収金は子どもが既に卒園しても支払われているのか。

**答** 子どもが中学生になっても月々払われている場合もある。

**問** 行政事務連絡業務委託費について、決算報告を出しやすいように検討してもらいたいどうか。

**答** いろいろな事業をしてもらう中で、業務委託契約を結んで委託料を支払っている。今後段階的に検討していく必要がある。

**問** 自動交付機を各支所に設置する考えはないか。

**答** 利用件数が問題。管理方法を含めて検討する。

**問** 最終処分場の石蓮寺には、地元が受け入れやすいようにしてもらわなければと思うが。

**答** 基本的な考えを示させてもらい、実際の処分場を見てもらう等して地元への理解をいただきたい。

### 産業建設常任委員会所管

**問** ほ場整備は、あとどれくらい残っているのか。

**答** 立川、下万吉地区が24年度、草生地区が26年

度完了予定であり、新しい地区が出てくればやっていく。

**問** イノシシ等防護柵設置補助金476万6000円の受益面積と戸数の内訳は。

**答** 山陽は面積10・4ha、戸数63戸。赤坂は14・9ha、46戸。熊山は16・2ha、51戸。吉井は18ha、77戸である。

**問** 農業後継者育成補助金15万円について、正規の後継者は何人か。



イノシシ等の防護柵

**答** 農業後継者クラブの加入者は29人である。

**問** 畜産農家は業種別で何件あるのか。

**答** 牛については肉牛が2戸、乳牛が2戸、繁殖が2戸。養鶏は4戸。養豚はない。

**問** 企業立地促進奨励金はどこに出したのか。

**答** 熊山工業団地の放電精密加工研究所と多賀のタイムスの2社である。

**問** 起業奨励金40万円は

何か。どういう新起業者か。

**答** 市内で新規の事業を起こした人に奨励金を支払うもので、1件20万円を支払っている。22年度は2件であった。屋根工事業者とインターネットショップ事業をしている人である。

### 国民健康保険 特別会計

**問** 基金繰入金5000万円はなぜいらなかったのか。

**答** 財政安定化支援事業繰入金については、当初一般会計から2億円組んでいたが、医療費が予想以上に伸びなかった等により結果的に繰り入れを行わずに済んだ。



牛舎内の乳牛

### 介護保険 特別会計

**問** 地域支援事業について、来所は増えているが訪問が減っている。何か原因があるのか。

**答** 各支所の集計方法が違っていったケースもあった。

基本的に包括支援センターが行っていないという状況ではない。来られない人には訪問してみても自宅の状況なども確認している。



山陽浄化センター

### 下水道事業 特別会計

ている。

**問** 老朽化している桜が丘東浄化センターの調査結果を踏まえて実施計画を行ったとあるが、市に移管されたとき修繕したのではないか。

**答** 移管時に市と大和ハウスが一定の覚え書きをしている。施設の維持管理も入っているが、調査費を含む細かい内容ではなかった。

21年度に大きな破損事故があり周辺に大変な迷惑をかけたため、施設の点検が急遽発生し、必要箇所の点検、長寿命化をあわせて22年度に調査を行った。

### 全体の 不納欠損

**問** 21年度から不納欠損が増えている。払えなければ減免や時効中断の方法もある。住宅については連帯保証人にも通知し、払ってもらおう考えはないか。

**答** 不公平感のないように、市民の生活も十分に考えながら行っていきたい。

### 教育委員会および下水道事業で2件の不適切な会計処理があったことについて

事も、21年度事業として22年度に過年度支払いするのであれば、議会へ前もって了承を取っておくのが正しい行為ではなかったのか。

**答** 年度ごとに支払いをしていくことを守っていかねければならない。今回の場合、双方に問題があったのであろうと思っている。事務処理ができていなかったことについては、お詫び申し上げる。

今後このようなことがないように、改めて幹部を含めて周知徹底をはかっていきたい。



スクールバス

【平成22年度 赤磐市決算額】

区 分		歳入	歳出	歳入歳出差引額
一 般 会 計		197億5,661万円	186億7,639万円	10億8,022万円
特 別 会 計	国民健康保険特別会計（事業勘定）	47億3,819万円	46億822万円	1億2,997万円
	国民健康保険特別会計（診療勘定）	1億3,923万円	1億2,862万円	1,061万円
	後期高齢者医療特別会計	4億2,904万円	4億2,466万円	438万円
	老人保健特別会計	1,319万円	126万円	1,193万円
	介護保険特別会計（保険事業勘定）	32億9,855万円	32億5,647万円	4,208万円
	介護保険特別会計（サービス事業勘定）	3,054万円	2,890万円	164万円
	簡易水道特別会計	1億9,697万円	1億9,409万円	288万円
	下水道事業特別会計	27億123万円	26億913万円	9,210万円
	宅地等開発事業特別会計	1,445万円	353万円	1,092万円
	竜天オートキャンプ場特別会計	1,442万円	1,392万円	50万円
	土地取得特別会計	1,789万円	555万円	1,234万円
	財産区特別会計	1,060万円	942万円	118万円
	計	116億431万円	112億8,377万円	3億2,054万円
公 営 企 業 会 計	水道事業会計	(収益的収入)	(収益的支出)	(収益的収支差引額)
		9億6,930万円	9億1,646万円	5,284万円
		(資本的収入)	(資本的支出)	(資本的収支差引額)
		2,647万円	1億1,257万円	△8,610万円
	赤磐市民病院事業会計	(収益的収入)	(収益的支出)	(収益的収支差引額)
		7億768万円	6億8,604万円	2,164万円
		(資本的収入)	(資本的支出)	(資本的収支差引額)
		936万円	4,284万円	△3,348万円

※水道事業会計、赤磐市民病院事業会計の資本的収支の不足額は、過年度損益勘定留保資金で補っている。  
 ※一般会計は地方自治法第233条の2の規定に基づき、歳入歳出差引額のうち6億6,222万943円を基金積立している。  
 ※歳入歳出差引額には、翌年度へ繰り越すべき財源が含まれている。  
 ※金額は、万円単位で表示するため端数処理をしている。

決算審査特別委員会

【目 的】平成22年度赤磐市一般会計歳入歳出決算の認定について  
 平成22年度赤磐市特別会計歳入歳出決算の認定について  
 平成22年度赤磐市公営企業会計歳入歳出決算の認定について に対する審査

【委員定数】7人

【委 員】委員 長 金谷 文則 副委員長 北川 勝義  
 委 員 海野 雅之 委 員 松田 勲 委 員 川手 辰夫  
 委 員 原田 素代 委 員 治徳 義明

# 一般質問

# 市の考えを問う

16人の議員が登壇し市の考えをたきました。

一般質問のページは質問した議員本人の原稿に基づいています。



**問**

学力は県内トップクラスになったのか

**答**

成果は上がっているが課題もある



佐藤武文議員

**問** 品格ある街づくりは実現したか。

**答** 住みよい街づくりを旨し、順次進めている。

**問** 赤磐産ブランドの売り込みはできたか。

**答** 宮内庁への献上は、努力したい。

**問** 学力は県内トップクラスになったのか。

**答** 成果は上がっている。人的支援も含め教育の充実を図る。

**副市長2人制の考えは**

**問** 職員との絆も薄れている感があり、現体制で十分と認識しているのか。

**答** 当分は1人体制で事業推進を行う。

**問** ごみ問題は、周辺地域からも不信感が起きている。今後どのように進めるのか。

**答** 施設整備は、待ったなしの事業であるので、十分気をつけたい。

**問** USSの企業誘致が進まない原因は、行政・地元どちらに問題があるのか。

**答** 地元・事業者・行政の3者で協議を重ね、早期着工に努力する。

**問** 職員教育を再考し、市民と行政の調和を図るべきではないか。

**答** 市民の意見を聞きながら、市政を進めていく。

**長引く訴訟は不利益ではないか**

**問** 重要施策の推進に影響はないか。訴訟による利点はあるのか。

**答** 行政運営上好ましいとは思っていない。

**答** 行政運営上好ましいとは思っていない。



小学校の運動会

い。法的手段をとらざるを得ない場合もある。

**後援会長のメリットは**

**問** 特定国会議員の後援会長は、赤磐市に何のメリットがあるのか。

**答** 意見や要望を国へ伝えていくためには、必要な事と考えている。

## 表紙のひとこと

### 台風能耐、輝くコスモス

朝晩の肌寒さが秋の訪れを感じさせるようになった10月2日(日)、赤磐市周匝の吉井川堤防でコスモス・案山子まつりが開催されました。

今年の台風12号の影響で全てのコスモスが倒伏する被害を受けましたが、地元の皆さんの手により見事に復元され、ピンクや白のコスモス約1万5000本が、訪れた観光客の人々の目を楽しませていました。

## 問 「小中学校の問題行動ワースト」をどうするか

## 答 「地域の子どもは地域で育てる」取り組みを実施



金谷文則議員

**問** 文科省2010年度問題行動調査結果で、岡山県がワーストとなり、中でも中学の暴力行為発生率は赤磐市が全国でワースト1だ。調査6項目全て県平均を上回る。赤磐市の教育は危機的状況ではないか。今までのような対策をしてきたか。また、どのように立て直すのか。先生の数を増やし、隅々まで目が届く環境を作ってはどうか。教育委員会に予算が

ないなら、市から予算付けしてもらってはどうか。

**答** 市長としては、結果を真摯に受け止め教育委員会のみならず他部局とも連携し、就学前から取り組みをするよう指示した。教育委員会としては結果を深刻に受け止め、詳細を分析すると共に生徒指導の協議会を開催し、ボランティアなど学校外の協力を得て、保護者および地域との連携を密にし「地域の子どもは地域で育てる」機運を高める取り組みを市全体で行う。

**問** 市内在住の高校生のための通学について交通の利便性が確保されていない。就学させている家庭だけでなく、中学校や小学校の家庭にも意見を聞いて対策を

講じてはどうか。  
**答** 平成23年度と24年度での公共交通見直しの中で保護者を対象としたアンケートを行い内容の検討をし、通学しやすい公共交通体系を構築したい。

**問** 近年ペットとして飼われていた動物を野に放す事が問題となつている。市内の池では、ミシシピアカミミガメが大量繁殖している。罰則規定も市民に啓発して欲しい。  
**答** アライグマやヌートリアなど有害鳥獣駆除は、自然保護の下での早期対応を目指す。ミドリガメなどペット野放しの罰則は、50万円以下の罰金等。



市民からの「荒れた学校を立て直した時」の資料

## 問 高額医療費自己負担について

## 答 高額療養費支給制度は同一月内で算定される



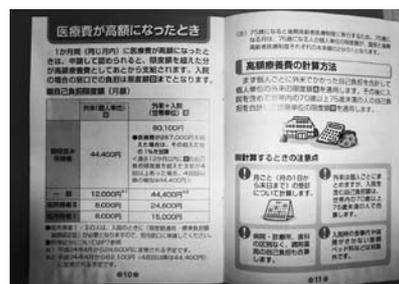
川手辰夫議員

**問** 国民健康保険において、入院治療・手術を受けた時に、医療費が高額になった時、国民健康保険から助成金が支給される制度がある。その中に自己負担額が1カ月、8万1000円＋(医療費－26万7000円)×1%となっている。これは月初めに入院治療・手術を受け、当月に退院した場合の事で、月末に入

院治療・手術を行った場合は、月をまたぐのは明白であり、8万1000円の自己負担基本額は2カ月で16万2000円になる。また、3カ月になる可能性もありうると思われるが、自己負担基本額8万1000円は毎月かかるため、3カ月では24万3000円になる。

4カ月目以降の負担は1カ月4万4400円となるようだが、医療費が1000万円近くもかかる心臓手術でも、月初めに入院し月末に退院すれば1カ月分で済むところ、医療費100万円でも月末に入院し、月初めに退院した場合では2カ月分かかると思われる。患者が入院の日時等を決めることはできない。同じ入院日数で倍半分も違うのを、国に見直しの要

望してもらえないか。  
**答** 国民健康保険の高額療養費の支給制度は、同一月内、また、同一医療機関が算定の対象となる。月末から入院し、月をまたがった場合や医療機関をまたがった場合などは、高額な療養費を負担していても合算されない。高額療養費の支給要件に該当するかどうかを算定するための医療費の金額は、医療機関から送られる診療報酬明細書に基づいて行うもので、算定の単位は1カ月となっている。単位を1カ月としたのは、膨大な事務処理をするため、国の方式に従っている。今後この方式で行う。



高額療養費のパンフレット

## 問 犬、猫の不妊去勢手術費用の助成を

## 答 県動物愛護財団の助成制度利用状況をみて検討



松田 勲議員

箱に入れて捨てられたり、無責任に餌を与えられ、繁殖して野犬や野良猫になったりもする。

他市のように動物愛護施策の一環として、野犬などの増加を防ぎ殺処分数の減少を図るため、不妊去勢手術費用への一部の助成制度の導入を考えたい。いくべきではないか。

**問** 昨今、犬や猫を飼っている家が大変増えている。動物は身近な存在であり、精神的にも癒され、飼主にとっては、まさに家族の一員である。しかし、一方で野犬やフンの問題に悩まされ、地域によっては大きな問題となっている。

飼えなくなったのか、

**答** 県動物愛護財団では、7月から犬、猫の不妊去勢手術に対する助成を始めている。犬、猫とも雌の不妊手術が5000円、雄の去勢手術が3000円である。この新助成制度に対する市民の利用状況なども注目しながら検討する。平成22年度の市内の犬の処分数は54件、猫は128件である。

## 桜が丘野球場等のトイレの整備や周辺整備について

**問** 桜が丘野球場や運動場は、年間利用率がとても高いが、トイレが未だにくみ取り式である。トイレの水洗化等を含めた周辺整備を早急に進めていくべきではないか。

また、駐車場は、大和ハウスが隣の山を削り提供してもらった経緯があり、せめて舗装等の整備をしてはどうか。

**答** 30年近く経過し、老朽化が進んでいる。快適に利用できる施設として、改修方法について前に検討する。駐車場については、駐車しやすいように整備を考えていきたい。



トイレの水洗化等の整備が望まれる桜が丘球場

## 問 交通安全対策の警察による取り締まり強化を

## 答 署との連携を強化し啓発と取り締まりを行う



海野雅之議員

交通マナーの意識向上に力を入れている。赤磐警察署との連携を更に強化し啓発と取り締まりを有効に行い、事故防止の努力を依頼している。

今後も、地域・関係団体等連携を図りながら、安全・安心な街にしたい。

## ごみ焼却施設に廃食油リサイクル設備を

**問** 廃食油のリサイクルについては、広域のごみ処理計画の中で検討され、その後赤磐市単独での建設計画が進んでいる。最近の状況はどうか。

**答** ごみ処理基本計画で主要施策の一つとして、新施設の稼働までに収集箇所や、場所・方法、直営か委託か等の問題を解決してい

きたいと考えている。

## 山陽団地の施設総点検の取り組みはどうか

**問** 陸橋・弥生公園の整備と点検修理、街路樹補植等の取り組みはどうか。高所の擁壁点検の結果はどうか。

**答** 再点検の時期と考えている。本年度から総点検を行う。少しでも来年度の予算に反映したい。街路樹は、地元へ相談し、随時補植を行う。擁壁は一定の調査を行った。更なる調査・監視と、雨水の浸透防止に対する修繕工事を本年度5箇所ほど実施の予定である。



交通安全指導車

## 問 大震災から学び、防災・福祉のまちづくりを

## 答 災害に強いまちづくりを行っていく



福木京子議員

の整備を進めている。  
校舎の耐震化は、平成26年度に完了する予定。住宅の耐震化率の向上を目指す。メガソーラーの誘致に取り組み。災害に強いまちづくりを行っていく。

生活保護世帯の冷房購入費貸し付けへの対応を

問 熱中症が社会問題になり、生活保護世帯への冷房購入費貸付金を収入認定しないことになったので、きめ細かな対応をすべきかどうか。

答 申し込みは現在ない。季節的なこともあり、次年度以降の訪問で該当世帯にきめ細かな対応をしていく。

問 大震災と原発危機は、命と暮らしを守ることが行政の使命であることを示した。各地の自治体では、地域防災の見直しや国への制度充実の要望、自然エネルギーの導入などに取り組んでいる。どう考えているのか。

答 消防組織の機能強化として耐震化と消防庁舎



学校の耐震化のようす

改定介護保険では、しっかりと国に意見を上げよ

問 今回の介護保険改定は、介護崩壊とまで言われる深刻な介護の危機には背を向け、公費の抑制とそのため重点化、重度者向けにシフトさせる見直しとなっている。

軽度者を介護保険から除外しようとする攻撃である。安心して暮らせる制度にするため、しっかりと国に意見を上げてもらいたいだろうか。

答 市として、国の負担の増額、低所得者の支援の充実や軽度者の介護保険からの除外など行わないよう市長会を通じて要望していく。

## 問 赤磐市民病院を 残すべき財産として存続せよ

## 答 診療所とする方向で 取り組んでいる



川澄章子議員

民の運動で守られてきたという経過がある。住民にとって何物にも代えがたいものなのだ。

話し合いの最低条件はベッドの確保だと考えるが、青写真ができる前の話し合いのテーブルに着く気はあるか。

答 皆さんの気持ちは理解できるが、医療機関の役割分担と連携で、よりよい地域医療ができると判断してその方向で取り組んでいる。まだ具体的なものはできていないが、今後各団体・職員・地域等の皆さんと協議していきたい。

市の徴収班を増員し 滞納者に誠意ある対応を

問 県の税整理組合および滞納整理推進機構(県庁内)に委託された人か



くまやまふれあいセンターでの説明会のようす

ら、突然予告もなしに給料の全額(預金残高ゼロ)が差し押さえられ、生活ができないと相談があったが、本人は通知をみていないとのこと。①悪質と判断し委託するまでにどんな対応をするのか②年に何人か③解決件数は④市に入る延滞金の配当額は。

答 ①市の収税体制は督促の送付・電話催告・臨戸訪問・催告書の送付などにより納付を奨励している。これらに応じない・誓約を守らない・機構からの予告にも応じない人は悪質と判断②30人③5件が完納、他全件が差押さえ等執行中④収納した額の6割。悪質な人には厳しく対応していく。

### 問 中学校の暴力ワースト・ワンのご感想は

### 答 真摯に受止め、責任を強く感じている



縦野志郎議員

**問** 中学暴力ワースト・ワンの話を県教委が公表したが、新聞記事の報道を読んでどのような感想をお持ちになられたか。

**答** 市長として真摯に受け止めている。教育委員会には、子どもたちの健全な成長に向けて、教育委員会のみならず他部局との連携の中で、小・中学校はもとより就学前の取り組みを図っていくよう指示をしたところだ。

教育長として、暴力行為ワーストという赤磐市にとって大変不名誉な報道によって市民の皆様が不安を与えた責任を強く感じている。深刻に受け止め詳細を分析するとともに、各学校には児童生徒との信頼関係のさらなる構築、校内指導体制の再点検、集団の育成の観点からの取り組みの実施等、再確認を行うよう指示した。

**問** お二人とも全然反省が感じられない。例えばこのような結果になって非常に残念だとか、世間に対して恥ずかしいとか個人的な反省の弁はないのか。何か人ごとみたいな話で、分析がどうのこうのと言われているが、その前にすることがあるのではないか。市長の教育方針が本当に良かった

のかどうか。学力向上と誇りの持てる教育をと言われても、この結果から誇りは持てない。教育は知・徳・体で、学力だけ向上しても、全体のバランスの中で子どもが健やかに成長するのではないか。

**答** 教育委員会では教育がどっちを向いて行われているのか、という感じだ。市長としては、学力だけではなく道徳心も体力も必要だ。誇りを持つ教育を目指しているが、過渡期としての報道も試験の一つだろうと思う。教育長としては、子どものための学校、子どものための教師、子どものための地域保護者である、と考えている。



中学校の授業のようす

### 問 田原用水分担金の誤調定にどう対応するのか

### 答 今後無いように確認作業を十分行う



森川勸治議員

**問** 田原用水分担金について、23年8月10日付で、23年度田原用水分担金納付通知書が送付されてきた。同封書類には、「利用権設定者は分担金の支払いについて、土地所有者と耕作者でいま一度確認ください」との案内があった。このことについて、以下の点について質問する。

① 順序が逆ではないか。調整は調定前にするべきではないか。  
② 誤調定をしていたら、いつ訂正するのか。  
③ 今後の対応はどのようなものか。  
④ 今年度までに誤調定を受けた納付者にはどのように謝罪するのか。

**答** ① 分担金の徴収内容を確認してもらうため、納付通知書に土地明細書を同封して送付している。  
② 誤りを発見しだい訂正し、還付および追加調定を考えている。  
③ 農業委員会の資料により再度全筆調査を実施の上、内容を確認するとともに、適正な事務処理に努めていきたい。  
④ 速やかに調査し、関係者に説明のうえ了承をもらい、調定の更正を行いたいと考えている。今後

この様なことの無いよう、確認作業を十分行う。  
**問** 赤磐市内の小・中学生の暴力行為や不登校の実態はどうなっているか。  
**答** 1000人当たりで、暴力行為は小学校で11・6件、中学校で56・5件。不登校は小学校で11・2人、中学校で43・3人。県内においてはどちらも高い数字となっている。  
**問** 今後の対応をどのようにするのか。  
**答** 今回の調査結果は真摯に受けとめている。引き続き学力向上への取り組み、教育格差の解消について、教育委員会のみならず、他部局と連携する中で取り組んでいきたいと考えている。



田原用水

## 問 桜が丘中央の再開発を

## 答 大和ハウス工業に働きたい



岡崎達義議員

思えない。大和ハウスに働きかけ、協力して再開発をしてもらいたいけどどうか。

**答** 桜が丘中央は、桜が丘住宅団地の中心にあり土地利用上有効な土地であると考えており、これまで大和ハウスは関係者と協議し、活用方法などを検討していると聞いている。市としては、現在のところ大和ハウス工業と共同での再開発は考えてないが、交通安全施設も含めて地域が活性化するように大和ハウス工業、商業施設の所有者の皆さんにお願いをして、今後の活用方策について働きかけていきたい。

### 災害時の庁舎の機能維持は万全を図れ

**問** 現在市庁舎の耐震構

造はどうかの。

また、緊急の場合、市庁舎が緊急車両の発着点となるが出入りはスムーズにできるのか。個人情報などのデータは、緊急時どのように保護されるのか。個人情報のクラウド化の考えはないか。

**答** 本庁舎については耐震診断を行い、診断結果により対応策を検討する。緊急車両の通行には問題がないものと考えている。データ保護は今後耐震性のある建物にサーバーを移しての管理を計画している。クラウド化については、よい方法と考えると、今後検討する。



空き家の多い商店街

## 問 合併浄化槽の推進計画はできたのか

## 答 合併浄化槽の補助金や改修の補助金を整理検討



原田素代議員

市として、国や県に期待するのは当然だが、吉井川水系の自治体で研究会や、専門家を招いた情報交換、最悪の事態を想定したシミュレーションなど必要ではないか。

**答** 他の首長と今後の方向性を検討していきたい。  
**問** 自主防災組織の育成が進んでいないが、今回の台風被害で①水害時の避難勧告の出し方②水害かどうかの見直し③夜間の避難時の安全確保をどうするか、など多くの教訓が出された。危機感を持って対策を講じるべきではないか。

**答** 個々の課題についてまた、災害時に危機管理部局とボランティアとの調整班がどうあるべきか等検討したい。  
**問** 新たに建設を予定し



滝山川

ている学校給食センターの生ごみ処理について、市内の生ごみ減量の対策と一緒に位置づけることで、新施設を有効活用するべきではないか。  
**答** 生ごみ処理全体は分別の協力をお願いし、資源化し減量化を図りたい。  
**問** 公共下水道が届くの10〜15年先になる地域があるとの執行部からの説明に対して、一刻も早く補助金を活用して、合併浄化槽の設置を推進するよう指摘したが、PDCA（プラン・行動・チェック・アクション）はできたのか。  
**答** 合併浄化槽の補助金を整理し見直したい。早い時期に合併浄化槽の設置を進めたい。

## 問 市民病院の存続を

## 答 診療所化の方向で進めたい



議員 実盛祥五

しいとも言うが、隣の市立備前病院は新築することになり岡大病院が医師の派遣をするようになったと聞いている。

赤磐市も市民病院を新築することにして、岡大病院に医師の派遣をお願いすると言えば医師の確保はでき、道は開けると思うが、市長の今までの方針を修正する考えはないか。

④市長、副市長は共生・愛和がない。これは意思・努力である。どのように吟味しているか。

①職員で市民病院の将来について検討するという委員会として立ち上げた。保健所長、医師会の会長、運営委員会の副委員長に入ってもらい



赤磐市民病院、診療所化へスピードの出しすぎのろのろでいきましょう

議論を進めた。当初から住民参加は考えていなかった。

②合併特例債の活用は、市町村合併による患者数が増加し対応できなくなった場合や、診療科目を増やす必要が出てきた場合等、そして市内のいくつかの公立病院を統合するというようなケースには使える。

③現実的に50床の病院で新築をしても、新臨床研修制度のもとでは医師の継続的な確保は難しいとの判断をしている。

④市民病院の診療所化に向けて、今まで以上に誠意を持って説明を行っていきたく思っている。

## 問 市民病院で診療拒否があったが知っているか

## 答 聞いているが拒否であるかないかわからない



議員 行本恭庸

わからない。  
問 市長室において元看護師でもあり患者でもあった人と会っているという話を市長は聞いている。

その時、「私の机の上にはそのような内容の手紙やハガキもある、直談判してきたのはあなたが初めてだ」と市長が言ったと聞いている。

その内容が診療拒否にあたるか否かよく調査をして、いい方向になるように努力してもらいたい。

答 診療を断る理由は、病院側

問 市民病院で診療拒否、またはそれに類似した行為があったことについて知っているか。いるとすればいつ頃か。あった場合は、どのような対応をしたのか尋ねる。  
答 そういう内容の話は聞いている。それが診療拒否にあたるかどうかは



の都合や、患者側の問題等がある。正当な理由無くしての診療拒否はあってはならない。  
もしもそのようなことがあれば、いつどのような状況で診療を受けようとしたかということをも具体的に正確に教えてもらえれば、病院へ伝える。また、医療相談の窓口として、備前保健所の保健課もある。そういったところにも相談して、そういったことの無いようにしていきたい。

## 問 「赤ちゃんの駅」事業の推進は

## 答 官民協働事業として登録制度を検討する



治徳義明議員

の統一と官民協働事業として登録制度を検討する。

問 全国的に空き家が増加しており、空き家率は約13%になっている。長年放置された空き家は、防災、防犯、衛生上などさまざまな悪影響がある。実態調査そして条例の制定や空き家再生等推進事業の活用など一歩踏み込んだ施策の研究・検討が必要と考えるが。

答 条例等は今のところ考えていない。実態調査は、中長期的に考える。

問 ワンストップの窓口（市役所）が必要では。答 すべての取り組みは難しいが、項目を決めて実施することを検討する。

問 今後、高齢化が加速される。介護支援等の施策は検討されたのか。

答 シルバー人材センターでは、元気な高齢者がワンコインで、例えばごみ出しや電球交換など簡単なサービス提供を行う「暮らしサポート事業」を試行的に山陽地域で開始予定である。また、介護支援ボランティア・ポイント制度の導入は、現時点では難しい。

問 ①発達障害支援センターの増員は。②発達障害支援は、幼児期・幼稚園・保育園・小学校の連携の強化が大きな課題と考えるが。

答 ①2人に増員した。②情報の共有化を図っていく。

問 「緊急連絡カード」の市内全域の取り組みは。答 準備をしている。

### 3月議会の一般質問関連

問 今後、高齢化が加速される。介護支援等の施策は検討されたのか。



子どもを抱っこするお母さん

## 問 地域医療についてどのように考えているのか

## 答 十分に配慮しながらやっていく



山下浩史議員

び岡山市内の大規模病院とのネットワーク化と役割の分担を促進し、市内全体の医療水準を確保することが最も肝要であると思う。特に、吉井地域において、従前は多くの開業医がおり、それなりに医療も充実した町であったと思っているが、今後医療についてどういう形でやっていくのが地域の住民にとって良いかということについて十分考えた上で方向性を出していきたいと考えている。

問 吉井地域においては深夜無医村状態になっており、住民が心配している。こういった状況をどのように考えているのか。また、早期に建て替えるような考えはないのか。

答 市内の医療水準の確保が課題となっている。通院手段の確保とともに、開業医、市民病院、診療所、医師会病院および

問 22年度学校暴力問題ワーキングについて、中学生の暴力、小学校の不登校といった問題だが、今後の改善策および取り組みについて教えてほしい。

答 今回の調査結果については、深刻に受け止めている。親も子どもも教員も一緒に考えていくということが大切であると考えている。

子どもに対する毅然とした指導と、子どもの気持ちに寄り添った指導というものが両輪になって、多くの人の力でもって、地域を挙げて子どもを地域で育てていくという考え方が大切である。

### 暴力問題について

問 22年度学校暴力問題ワーキングについて、中学生の暴力、小学校



佐伯北診療所

**問** 熊山駅前開発を  
早急に進めるべきでは

**答** 千躰地区の  
雨水対策を先行する



北川勝義議員

**問** 前回の一般質問の実  
行性で①介護保険料の納  
付状況・委託業者の処置  
②教育環境整備審議会の  
答申による基本方針・実  
施計画の策定状況③産業  
集積地環境整備④地域交  
通対策で近隣市町との連  
携⑤ごみ施設の進捗状況  
と最終処分場はどうか。

**答** ①3人が未納。委託  
業者から弁償金50万円を  
納入②関係校の保護者を  
対象に説明会を9月下旬  
から10月中旬にかけ開催  
③地元からの排水路整備  
要望に対応④バス路線の  
確保に美作市や美咲町等  
と連携⑤最終処分場は石  
蓮寺地区を候補地とし  
た。津崎地区と建設の協  
定書締結の協議を始めて  
いる。

**問** サッカー場の賃貸計  
画が中止となり今度はメ  
ガソーラー建設との発表

**答** だが地元反対はないか。  
**答** 地元町内会長・連合  
町内会長に意向を伝えて  
いる。相談して進める。

**問** 熊山駅前開発が井上  
市長になり保留となって  
いるが、早急に開発を進  
めるべきだがどうか。

**答** 地域の安全・安心の  
観点から千躰地区の雨水  
対策を先行。駅前開発は  
雨水対策の進捗状況等を  
踏まえ事業推進を図る。

**問** 赤磐市民病院は合併  
協定書で病院存続と  
なっている。安易に  
診療所にするとはど  
ういうことか。

**答** 協定書は尊重さ  
れるべきものだが、  
状況の変化に応じ変  
更する場合もある。  
赤磐医師会や赤磐医  
師会病院と連携し地  
域医療体制の充実に  
努める。



熊山駅前開発予定地（千躰地区）

**問** ①財政状況の見直し  
②基金の内容・必要性③  
つちのこ基金の活用は。

**答** ①27年度以降は合併  
算定換えで収入が減少し  
33年度には財政調整基金  
が底をつく②基金全体は  
83億6100万円。特定  
目的基金は14基金。状況  
を見て基金の組み直しを  
検討③財政調整基金が底  
をつくような状況になる  
前に基金の整理も必要。

**議会を傍聴しませんか!!**

本会議、各委員会は一般に公開され、どなたでも自由に傍聴することができます。市政の動きや議員活動を知るためにもぜひ傍聴してください（本会議：定員30人、各委員会：定員5人）（※ルールを守った傍聴をお願いします）

また、休会中の委員会の日程については、赤磐市議会のホームページに記載しております。

本会議については、インターネット上で配信を行っております。また、市役所本庁舎1階市民コーナーにもモニターを設置しておりますので、どうぞお気軽にご覧ください。



議会配信の様子



車イス用の通路（本会議場）

ご自宅のパソコン等を使ってインターネットによる本会議配信をご覧になれます。

アドレス：<http://www.city.akaiwa.lg.jp/gikai/gikai-live.html>

ぜひご利用ください。

# 力作ぞろいの人権ポスター



左：高陽中学校 1年 三好佑宜  
中：吉井中学校 1年 鵜野桃子  
右：山陽西小学校 1年 原田日和

12月4日から12月10日までの期間は「人権週間」です。  
人権ポスターを市内の小・中学生を対象に募集したところ、737点もの応募がありました。

このページに掲載しているのは、その中でも特に優秀な作品29点のうちの一部です。

皆さんも、人権についてもっと認識と理解を深めていきましょう。



## 12月定例会のお知らせ

次回12月定例会は、11月29日から12月20日まで22日間の会期で開催予定です。多くの皆様の傍聴をお待ちしております。

## インターネットで本会議の配信と会議録がご覧になれます



### 本会議配信を見る方法

赤磐市のホームページを開き、「赤磐市議会」→「本会議配信」と開いていく。

### 会議録を見る方法

赤磐市のホームページを開き、「赤磐市議会」→「会議録検索」と開いていく。

- ※ インターネットでの本会議録画配信は、平成23年6月第3回定例会以降のものとなります。
- ※ インターネットで検索できる会議録は、平成20年3月第2回定例会以降のものとなります。
- ※ 市内の図書館（中央、赤坂、熊山、吉井）においては今までどおり冊子の会議録を閲覧できます。

## 編集後記

9月議会が終了して、ずいぶんと秋の色も深まってきました。スポーツの秋、芸術の秋、食欲の秋……秋にもいろいろとたくさん秋があります。どのような秋をお楽しみでしょうか。

さて、委員一同、本会議や委員会などでの審議内容を要約して「読みやすく、わかりやすく」をモットーに取り組んでまいりました。今後とも、7人の委員が力を合わせて紙面充実に研さんを重ねてまいります。

### 議会広報編集特別委員

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 金谷 文則 |
| 副委員長 | 川手 辰夫 |
| 委員   | 海野 雅之 |
| 委員   | 川澄 章子 |
| 委員   | 北川 勝義 |
| 委員   | 原田 素代 |
| 委員   | 治徳 義明 |